精薄施設実現の見通し

福祉の町陸別へ

酪農と木材の町から、さらに福祉の町づくりをめざして、杉出陸別町長が昨年いらい意欲的に推進をはかってきた重度精薄者の更生授産施設の設立が本年度実現の見通しとなりました。

当初は町自体の施策としてとりあげ設立準備委員長に杉田町長が就任してことをすすめてきましたが、道民生部の指導もあつて、借入金の町による損失補償は必要だが、事業主体は民間の奉仕団体でなければ補助や融資はうけられないところから、竹内千代蔵氏を準備委員長にして「社会福祉法人北勝光生会」を設立することになり、事務局を役場民生課内において支庁、道を通じて中央にはたらきかけていました。

法人の設立については施設補助が決定してからでよいとの指導で、自転車振興会などから共同募金会を通じて配分される補助金の決定をまつていましたが、このほど四十八年度の新設個所は本道では陸別町と今金町が優先採決となり、二十四日に竹内委員長らが上京して厚生省当局と打ち合せた結果、明るい見通しとなり、五月には建設に着手、十月ころには開所のはこびとなるもようです。

陸別町が優先採択となつたのは、国営パイロットに農業構造改善事業を乗せた高原酪農の基地ともいうべき畜産センターがすでに実現していて、そのなかに精薄者を収容して酪農と小家畜に親しんで更生をはかるという、全道で初の試みが認められたもので、全道各地からの収容者家族の来町交流も多くなり、町の基幹産業の振興にも結びつく福祉施設として期待されています。

学園都市に各政党の見解

足寄町議会特別委で調査

臨時第一回の足寄町議会は二十四日午前十時すぎにひらいて（欠席は斉藤副議長）会期を一日として、小林町長から十二月二十日の民芸品共同作業場の出火について陳謝の報告があつて議案に入り、一般会計予算の補正では

大野議員　共同作業所の原材料費五十二万一千円をくわしくききたい

土田商工観光課長　熊が大木に二頭、三頭よじのぼる形のもの六百五十個の受注があり、技術的に難しく期間も短いので、半製品を購入して納期に合せたい、百三十二万六千円の卸し価格なので八十万円の利益となる

大野議員　共同作業所の目的は短い期間で技術の修得ではないか

富田助役　木材資源の有効活用、技術の取得、労賃収入が目的だが、こんご企業化の方向も必要となる

鳴海議員　八十万円の利益があるかどうか、もうけるからやるのではくい違う目先のため、もうけるためでない、町は犠牲を払つてやるべきでないか

土田商工観光課長　基礎技術を修得させながら木彫民芸品を定着させ産業にもつてゆきたい、利益を全然考えないわけではない

鳴海議員　もうけにはならない、大量機械化は民芸品ではない

富田助役　八十万円は原材料費と売上げ代の差で利益ではないが、修得を兼ね販売もする

鳴海議員　共同作業所本来の計画を方向づけしてもらいたい

神本議員　教育振興会の補助十万八千円の中味はどうか、校長会の負担金があるのか

富田助役　四十七年度予算と事業の関係からで、校長会への負担金はのつていない

木村教育次長　内容は委託料で、ブロック会議や家庭訪問などの不足分である

神本議員　研究所などでやるべきでないか

鳴海議員　臨時議会での提案はおかしい、ブロック会議や家庭訪問はどんな内容か

岡教育長　時期が若干ズレたが、九月か十二月に提案すべきだつた

鳴海議員　家庭訪問の超勤分は出せないのでないか

岡教育長　諒解願いたい

富田助役　四十七年度の執行状況を把握し必要として補正した

などの論議があつてこれを議決、ついで十二月二十三日で任期満了の固定資産評価審査委員に渡辺昭、山岸喜一両氏の再任、三原幸雄氏の新任に同意したあと研究学園都市調査特別委員会（矢野寛一委員長）から八日から十三日まで矢野、鳴海、吉田、大浦の四委員による調査の結果を報告しました。

それによると、訪問した各政党や道の見解はつぎのとおりで

自民党

鈴木善幸総務会長　総理は全国に八カ所というが、そう沢山つくつても結果は現状と同じになるので、全国にせいぜい三カ所か五カ所で、北海道は一カ所しか望めない、総理は阿寒地帯といわれたが、これは学園都市として綿密なデーターにもとずいての発表ではなく、自然環境が優れているところからいわれたもので総理がいつたからとてその場所が絶対的なものとはならない、しかしこれからすすめられる上では有利であると思う、研究学園都市であるからあらゆるものを組合せたものでなければならない、北海道内において誘致地区が競合しているのであれば、その点は煮つめて一つにまとめる必要がある

本日は予算時期で総理にお逢いできないが、みなさんがお出でになつたことは総理に伝え、また時期を改めてお出でになれば総理にお逢いできるよう配慮する

本名武代議士　研究学園都市は将来の方針としてはあるが具体的に決めていない、私立大学はある程度具体化されてきている、大都市にはつくらない、新設と分散が考えられており、北海道は二カ所は必要だと思つている、千歳空港のほか道東にジャンボ空港でなくとも千歳の副次的なものが必要である

社会党

美濃岐市代議士　党としては日本列島改造論には、公害の拡散、土地の高騰などで反対しているが、学園都市問題については党として煮つめてはいないが、私個人の考えとしては党としてもこれには反対しないだろうと考えている、大学が東京の過密地帯に集中しているよりも、静かな環境のよい場所におかれることは理想であり、この発想も大学の環境条件の改善と過密過疎の解消にねらいがあるものと思う、具体的構想はまだ煮つまつていないようだが、既存の大学の疎開と緩和がねらいでないか、文部省当局の考え方をきき返答したい

共産党

山原健三郎代議士　中央と地方の文化の差をなくするための総合大学を地方におくことは賛成しているが列島改造そのものには党として反対している、党としても「いのちとくらしを守り住みよい国土をつくる総合計画」のなかで、大学間の格差を是正し大都市との つりあいのとれた教育文化発展をはかることを提唱しており、民主的教育方針ですすむ計画をつくるのには党としても反対しない

道開発調整部

佐藤金雄調整課長　研究学園都市構想は道三期計画の目玉事業で、道庁内部において各部局から参画したプロジェクトチームを編成し本道に適した研究学園都市はどうあるべきか等調査研究しており、大体一月末日ころまでに案がまとまり知事に報告されることになる、調査結果は内部的なものであつて公表はしないが秘密事項ではない、国連大学とはいまの段階では関係がない、学園都市は静かな環境のよいところに設置するのが目的であるから、札幌近郊では設置できない、学園都市建設にあたつては地方の財政負担はさせたくない

千歳市

杉森一身企画課長　千歳空港は当時住民の手弁当で造成した歴史があつて、市のシンボルである、現在自衛隊と民間の併用で管制は自衛隊がおこなつている、日航、全日空とも一日十七便で十分間に一台の離着陸で、現在の滑走路は三千㍍と二千七百㍍の二本であるが、民間専用の滑走路三千㍍、巾六十㍍をつくりジャンボ機の就航に備えるため一千六百㍍の敷地買収がすすめられている、道東地区に国際空港をつくりたいということであるが、将来北方圏との交流をふくめても国際空港は道内一カ所で充分で、道内の各ローカル空港が東京方面への直行便を希望しているが、受け入れ側がほう和状態なので一端千歳でおろし千歳から出発させるように開発庁としては考えている、またこんご情報伝達機能が発達してくるので必ずしも航空機に頼らなくともよいのでないか関連産業については航空輸送が可能なものに主眼がおかれ電気抵抗物資、電子光学産業等が考えられる、千歳市においては騒音公害に対する苦情は若干あるが、なくせということでなく、むしろ自衛隊ジェット機による騒音が高いので滑走路を下げて（現位置より離して）ほしいという声である乳牛等にあたえる影響はほとんどなく、牛も環境に馴れてくる、農家戸数は現在六百戸で、うち三百戸が酪農経営で乳牛三千頭で、五十五年には農家戸数は四百戸に減少する、関係従業員は八百人くらいで、関連税収入は五千万円程度であるこの報告にたいして

湯浅議員　名称は学園都市特別委員会だが、中味は空港問題になつており、どのように調査するのか、この程度でよいと考えるのか理事者はどうとりくむのか

矢野委員長　中間報告ではない、もう一度やつて結論を出したい

湯浅議員　報告の仕方がおかしい、意見も目安もない

神本議員　正式な報告ではない

矢野委員長　関心をもたれているので調査の資料を配布したので、正式な調査結論は次回に報告する

などの問答があつて午前十一時すぎに閉会しました

足寄市街の小学校問題

足寄町議会では、西小学校の移転新築と東小学校の十二学級程度への倍増拡大する西小の規模も変つてくるし、あくまでも市街地の小学校を複数でいくとするならば、西小の校地が狭いからの移転新築なのですから西小を現校地に適合した学級数に押えることが必要ではないでしようか。

西小には新築して間もない体育館もあり鉄筋校舎もあるのに、これらを〃親方日の丸〃式にいとも簡単に使い捨てにして五億円も六億円もかけて新築すればよいでは、町の財政はたまりません。

社会教育施設に有効に転用するといつても、小学校の体育館は小学校が使つてこそ最有効な筈です。

町はじまつていらいの巨費を投じて新築するというのに市街一本の統合校舎ではないというなら、むしろ西区方面に下愛冠をもふくめた第三小学校を新築して東小、東小とともに格差のいるよりも、静かな環境のよい場所におかれることは理想であり、この発想も大学の環境条件の改善と過密過疎の解消にねらいがあるものと思う、具体的構想はまだ煮つまつていないようだが、既存の大学の疎開と緩和がねらいでないか、文部省当局の考え方をきき返答したい

共産党

山原健三郎代議士　中央と地方の文化の差をなくするための総合大学を地方におくことは賛成しているが列島改造そのものには党として反対している、党としても「いのちとくらしを守り住みよい国土をつくる総合計画」のなかで、大学間の格差を是正し大都市との つりあいのとれた教育文化発展をはかることを提唱しており、民主的教育方針ですすむ計画をつくるのには党としても反対しない

道開発調整部

佐藤金雄調整課長　研究学園都市構想は道三期計画の目玉事業で、道庁内部において各部局から参画したプロジェクトチームを編成し本道に適した研究学園都市はどうあるべきか等調査研究しており、大体一月末日ころまでに案がまとまり知事に報告されることになる、調査結果は内部的なものであつて公表はしないが秘密事項ではない、国連大学とはいまの段階では関係がない、学園都市は静かな環境のよいところに設置するのが目的であるから、札幌近郊では設置できない、学園都市建設にあたつては地方の財政負担はさせたくない

千歳市

杉森一身企画課長　千歳空港は当時住民の手弁当で造成した歴史があつて、市のシンボルである、現在自衛隊と民間の併用で管制は自衛隊がおこなつている、日航、全日空とも一日十七便で十分間に一台の離着陸で、現在の滑走路は三千㍍と二千七百㍍の二本であるが、民間専用の滑走路三千㍍、巾六十㍍をつくりジャンボ機の就航に備えるため一千六百㍍の敷地買収がすすめられている、道東地区に国際空港をつくりたいということであるが、将来北方圏との交流をふくめても国際空港は道内一カ所で充分で、道内の各ローカル空港が東京方面への直行便を希望しているが、受け入れ側がほう和状態なので一端千歳でおろし千歳から出発させるように開発庁としては考えている、またこんご情報伝達機能が発達してくるので必ずしも航空機に頼らなくともよいのでないか関連産業については航空輸送が可能なものに主眼がおかれ電気抵抗物資、電子光学産業等が考えられる、千歳市においては騒音公害に対する苦情は若干あるが、なくせということでなく、むしろ自衛隊ジェット機による騒音が高いので滑走路を下げて（現位置より離して）ほしいという声である乳牛等にあたえる影響はほとんどなく、牛も環境に馴れてくる、農家戸数は現在六百戸で、うち三百戸が酪農経営で乳牛三千頭で、五十五年には農家戸数は四百戸に減少する、関係従業員は八百人くらいで、関連税収入は五千万円程度であるこの報告にたいして

湯浅議員　名称は学園都市特別委員会だが、中味は空港問題になつており、どのように調査するのか、この程度でよいと考えるのか理事者はどうとりくむのか

矢野委員長　中間報告ではない、もう一度やつて結論を出したい

湯浅議員　報告の仕方がおかしい、意見も目安もない

神本議員　正式な報告ではない

矢野委員長　関心をもたれているので調査の資料を配布したので、正式な調査結論は次回に報告する

などの問答があつて午前十一時すぎに閉会しました

読者の室

（投書歓迎）

足寄町議会では、西小学校の移転新築と東小学校の十二学級程度への倍増拡大の両陳情を採択議決したとのことですが、西小の新築はともかく、東小の拡大は通学区域の変更が必要ですが本気で実行するというのでしようか。

そうであるとすれば新築する西小の規模も変つてくるし、あくまでも市街地の小学校を複数でいくとするならば、西小の校地が狭いからの移転新築なのですから西小を現校地に適合した学級数に押えることが必要ではないでしようか。

西小には新築して間もない体育館もあり鉄筋校舎もあるのに、これらを〃親方日の丸〃式にいとも簡単に使い捨てにして五億円も六億円もかけて新築すればよいでは、町の財政はたまりません。

社会教育施設に有効に転用するといつても、小学校の体育館は小学校が使つてこそ最有効な筈です。

町はじまつていらいの巨費を投じて新築するというのに市街一本の統合校舎ではないというなら、むしろ西区方面に下愛冠をもふくめた第三小学校を新築して東小、東小とともに格差のない市街地三校併立で各地区の家庭に密着した学校にした方が父兄も安心であり学力も向上するのではないでしようか。

遠距離通学も交通地獄も児童の訓練ということもありますが、交通三悪の危険にさらすべきではなく正常なスポーツできたえるのが本筋であり、西小中心の市街地小学校の在り方をこのさい再検討すべきではないでしようか。

（足寄町　一PT会員）

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T　二五一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊐自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　二六二六

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

不動産についての御相談は
調査　売買　あっせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

株式会社メーゾン観光チェーン
おでんスナック
シャンブル（小さな部屋）
松山絵里子
足寄町南一区　T　二四三九

家具と建材
信用は最大のサービス
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！

技術に生きる！
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
世界のビクター
有限会社
ミネ・デンキ
―あらゆる電気器具―
足寄町三笠通り　T　2642